

天皇盃皇后盃 第54回全日本空手道選手権大会（個人戦）



スポーツ振興基金助成事業

独立行政法人日本スポーツ振興センター

1. 大会名

天皇盃皇后盃 第54回全日本空手道選手権大会（個人戦）

2. 主催・後援

主催	公益財団法人全日本空手道連盟
後援（予定）	スポーツ庁、（公財）日本スポーツ協会、（公財）日本オリンピック委員会、 （公財）日本武道館、日本武道協議会、NHK

3. 日時・会場

日時：令和8年12月14日（日） 9時00分～18時00分（予定）

会場：日本武道館

東京都千代田区北の丸公園 2-3 九段下駅 2 番出口 徒歩 5 分程度

※会場への直接のお問い合わせはご遠慮ください。

4. 競技種目

- （1）各地区協議会並びに競技団体より選出された選手及び全空連推薦選手による男子・女子形競技個人戦
- （2）各都道府県並びに競技団体より選出された選手及び全空連推薦選手による男子・女子組手競技個人戦

5. 競技規定

（公財）全日本空手道連盟競技規定および本大会申し合わせ事項で行う。

（1）形競技

ア. トーナメント方式で行う。

イ. 敗者復活戦及び3位決定戦を行う。

ウ. 1回戦から決勝戦まで得点による多数決方式で実施する。

エ. 毎回戦で異なる形を演武しなければならない。（敗者復活戦も同様）

オ. 形の指定

1回戦	全空連第1指定形・第2指定形から選択する。
2回戦以降（敗者復活戦含む）	全空連競技形リストから選択する。

（2）組手競技

ア. トーナメント方式で行う

イ. 敗者復活戦及び3位決定戦は行わない。

ウ. ビデオレビュー（VR）システムは準決勝戦、決勝戦のみ採用する。

エ. プロテストを採用する。プロテストの金額は20,000円とする。

競技規定違反に対する異議申し立てについては、その場でコート主任に申し出て訂正を促すこと。

（3）組手安全具について

ア. 厚手タイプの拳サポーター（WKF または全空連承認の赤色・青色のもの）

イ. マウスピース（無色透明で変形のないもの）

ウ. ボディプロテクター (WKF または全空連承認のもの)

エ. インステップガード・シンガード (WKF または全空連承認の赤色・青色のもの)

オ. セーフティカップ (男子選手のみ)

カ. チェストガード (女子選手のみ)

※安全具は選手各自において用意すること。

※安全具に不備のある選手は出場することができない。

※WKF 承認の安全具については右記リンクを参照のこと (<https://www.wkf.net/approved/protectations>)

(4) 選手の服装について (別紙参照)

ア. 空手着は (公財) 全日本空手道連盟競技規定に定めたものとする。(メーカーは指定しない)

イ. 空手着の紐は必ず結ぶこと。

ウ. 赤・青帯は全空連で検定されたものを各自で用意すること。

エ. 金属類のヘアピン等、ヘアバンド、リボン、ビーズの使用・装着は一切認めない。

シングルポニーテールに1つまたは2つの控えめなゴムバンドの使用は許可する。

オ. 左胸には、選出団体 (地区協議会、都道府県連盟、競技団体) の判断により、「選出団体名もしくは所属している学校・会社の名称や競技団体で認められているマーク」を縫着し、背中にはゼッケンを必ず縫着すること。(会派名、道場名、協賛企業名等は使用できない)

※ゼッケン及びトーナメント表には、選出団体名が記載される。

※胸の部分を膨らませた形状、上着の裾を跳ね上げる形状 (ダックテール) は是正の対象となる。

※縫着するものは、全ての辺をしっかりと縫い付けること。

※空手着に不備のある選手は出場することができない。

(5) 監督の服装について

ア. ダークスーツまたはジャケット・ブレザーを着用すること。

イ. ワイシャツは白色とする。

ウ. 全空連指定ネクタイ (紺色) を着用すること。

エ. シューズは床を傷つけないものとし、派手な色合いは禁止とする。(サンダル不可)

オ. 監督用 ID カードを携帯すること。(首から下げる)

カ. アリーナ内ではウエストポーチやリュック類は身に着けないこと。

※全空連エンブレムの着用は不可とする。

※女性はスラックスまたはスカートでもよく、ネクタイの着用も不要とする。

(6) 大会審判団は、(公財) 全日本空手道連盟により編成される。

6. 出場枠

(1) 形競技

選出団体	男子形競技	女子形競技
地区協議会	1 名	1 名
競技団体	1 名	1 名
全空連推薦選手	(3) に該当する選手	

(2) 組手競技

選出団体	男子形競技	女子形競技
東京都空手道連盟	2 名	2 名
大阪府空手道連盟	2 名	2 名
全日本学生空手道連盟	2 名	2 名
その他都道府県空手道連盟	1 名	1 名

その他競技団体	1 名	1 名
全空連推薦選手	(3) に該当する選手	

(3) 推薦選手

ア. 前年度優勝者

イ. 形：10 月 1 日現在の WKF ランキング国内上位 3 位以内の選手

ウ. 組手：10 月 1 日現在の WKF ランキング各階級国内上位 1 位の選手

※WKF ランキングは「WKF CURRENT Ranking」とする。

※WKF ランキング該当選手が全空連推薦選手として出場しない場合のランキングの繰り上げはしない。

(4) 監督

ア. 形：男子・女子合わせて 1 名とする。

イ. 組手：男子・女子合わせて 1 名とする。但し、東京都・大阪府・学空連は 2 名までとする。

ウ. 全空連推薦選手の監督を別に設けることができる。

※形競技、組手競技の監督を兼任することは可能

※監督は、登録した該当選手にしか付くことができない。

7. 出場資格

【選手・監督 共通事項】

(1) 公益財団法人全日本空手道連盟の会員であること。

(2) 全空連の加盟団体に所属し、次のいずれかに該当する者であること。

ア. 日本国籍を有する者。

イ. 日本国籍を有しない者は、日本滞在許可の記入がある外国人登録済み証明書、または 3 年以上日本に滞在していることを示す官公庁発行の証明書を提示できる者。

(3) 都道府県空手道連盟(※)、地区協議会(形のみ)、競技団体が選出したものであること。

※居住地、勤務地、学校教育法第 1 条に規定する学校の所在地、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地

【選手】

(4) 令和 8 年度以内に満 16 歳以上の誕生日を迎える者であること。

(5) 全空連公認段位取得者であること。(少年段位は不可)

(6) 健康診断を受け、健康であることが証明された者であること。

(7) 「14. ドーピング検査について」を確認すること。

【監督】

(8) 全空連公認地区審判員以上の資格と公認コーチ 3 以上の資格の両方を保有していること。

※選手及び監督の所属を証明する書類並びに選手の健康状態を証明する書類については、当該団体会長が確認し、内容に相違ないことを証すること。(全空連への提出不要)

8. 申込手続き

本大会の申込みは、指定リンク (Google Apps Script) より「全日本選手権大会 WEB 申込み」より行うこと。

(組手団体戦、大会分担金・協力金、プログラム広告費の申込みも同一フォームでまとめてお申込み可能です。)

(1) 申込方法

下記 URL より専用フォームへアクセスし、必要事項をご入力の上、送信すること。

<https://script.google.com/macros/s/AKfycbzjz26kpcfoeznfwQqC0RaLqqgnrihSBQ4DFwnABnAInx2ziqV85xdKy14cPyy9CeMz/exec>

(2) 申込期限

令和8年11月6日(金)まで

(3) 選手顔写真登録について

※登録フォームの準備が整い次第、各団体に連絡します。

9. 出場費

(1) 出場費 1名 10,000円

(2) 留意事項

ア. 納入された出場費は、理由の如何に関わらず返金しない。

イ. 各明細書を領収書の代わりとする。

10. 組み合わせ抽選

組み合わせ抽選の結果は11月下旬に(公財)全日本空手道連盟公式ホームページに掲載する。

11. 表彰

(1) 男子・女子形競技個人戦

優勝(文部科学大臣杯)、準優勝、第3位(2名)、第4位(1名)、第5位(4名以内)

※表彰は、1勝以上した選手を対象とするため、出場人数により第5位の表彰人数を変更することがある。

(2) 男子・女子組手競技個人戦

優勝(天皇盃・皇后盃)、準優勝、第3位(2名)、第5位(4名)

※入賞選手は必ず表彰式に参加すること。

12. 審判会議・監督会議(日付未定)

(1) 審判会議

日時: 2026年11月 日() 18時30分～(予定)

方法: Zoomによるオンライン開催とする。

(2) 監督会議

日時: 2026年11月 日() 19時00分～(予定)

方法: Zoomによるオンライン開催とする。

13. 配信について

本大会はNHK Eテレにて決勝戦のみ放送する。

※全空連公式YouTubeによるLIVE配信は行わず、後日アーカイブ配信を行う。

14. ドーピング検査について

本大会は、日本ドーピング防止規程に基づきドーピング検査対象である。

本大会出場選手は、大会に出場申込みを行った時点で日本ドーピング防止規程に従い、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。

また、未成年者である本大会出場者の申込みにおいては、上記ドーピング検査の実施について親権者から同意を得たものとみなす。

【18歳未満競技者親権者 同意書】を記載して当日持参すること。(全空連に事前提出は不要)

本大会出場者は、本大会において行われるドーピング検査を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わなかった場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、ド

ドーピング防止規程違反となる可能性がある。ドーピング防止規程違反と判断された場合には、日本ドーピング防止規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。

日本ドーピング防止規程の詳細内容及びドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<https://www.playtruejapan.org/>) にて確認すること。

15. その他

(1) 安全対策

ア. 選手は、各自の責任において健康診断を受け、医師の出場許可を得ておくこと。

イ. 主催者において、参加選手全員に傷害保険を付保する。

ウ. 出場選手が競技中に負傷した場合は、主催者において応急処置を行う。

エ. 選手は必ず健康保険証等を携行し、初診に必要な費用等を用意すること。

(2) ゼッケンは主催者で作成し、11月中旬に各都道府県連盟事務局に送付する。

(3) 試合を棄権する場合は、監督が事前もしくは当日の招集時間までに棄権届を提出すること。

(4) 大会期間中の忘れ物は、大会終了後2週間は当連盟で保管する。

保管期間終了後は、警視庁に届け出を行う。

16. 肖像について

本大会は、大会の模様をインターネット等による配信を実施する予定であり、会場にて観戦できない関係者への周知・案内も行う場合がある。これらの事情を踏まえ、肖像の取り扱いについては以下の通りとする。

(1) 公益財団法人全日本空手道連盟および関係機関が認定した配信業者・報道機関によって撮影された映像・写真が中継・録画放映またはインターネット等を通じて配信・二次利用される場合がある。

(2) 配信等の実施に際し、参加者の個人情報（氏名・所属等）および大会記録等を公表する場合がある。

(3) 本大会への参加申し込みをもって、上記（1）・（2）の取り扱いについて同意いただいたものとみなす。

(4) 掲載内容の訂正・削除等を希望される場合は、本人確認のうえ、当連盟ホームページにあるお問い合わせフォーム (<https://www.jkf.ne.jp/contactus>) よりお申し出いただきたい。

17. お問い合わせ

〒135-0053 東京都江東区辰巳 1-1-20 日本空手道会館

TEL：03-5534-1951 / FAX：03-5534-1952

Mail：y-sunakawa@jkf.jp

担当：事業推進部企画業務課 砂川雄飛

※お問い合わせは各都道府県連盟担当者から行うこと。

別紙 服装について

1. 胸マークについて

縫着位置：左胸

サイズ：縦 20cm×横 10cm 以内とする。

文字指定：楷書体・黒色・縦書きとする。

※選出団体（地区協議会、都道府県連盟、競技団体）の判断により、「選出団体名もしくは所属している学校・会社の名称や競技団体で認められているマーク」を縫着すること。（会派名、道場名、協賛企業名等は使用できない）

※ゼッケン及びトーナメント表には、選出団体名が記載される。

※競技団体が認めているマークについては、上記規格以外も可能（ロゴマークも可）とする。

2. 両腕部マークについて

右袖：協賛企業・団体の名称またはロゴマークを縫着できる。

サイズは縦 3cm×横 10cm とし、競技規定に定められた範囲内に最大 4 件まで表示可能とする。

協賛企業・団体の名称またはロゴマークを縫着する場合は、事前に全空連から承認を受けること。

承認期間：令和 8 年 12 月 4 日（金）まで [【https://forms.gle/CryZ4znxT52GVHYG6】](https://forms.gle/CryZ4znxT52GVHYG6)

※風俗営業関連、暴力団関係企業・団体等を協賛として露出することは認めない。

左袖：いかなる表記も認めない。

※全空連が指定する大会スポンサーのロゴマークを縫着する場合がある。

3. 製造業者商標ラベルについて

製造業者がはじめから付けた織ラベル・商標のみ、以下の個所に許可する。

許可箇所：上着裾表側、ズボン表側（左右どちらか）、右胸、首襟元のみ

※上記以外の個所へのワッペン・刺繍等は一切認めない。



空手着表記図

左 胸	『1. 胸マークについて』記載事項のみ可
右 胸	製造業者商標のみ可（首襟元も可）
左 袖	いかなる表記も不可
右 袖	協賛企業・団体の名称・ロゴマークの掲出可
背 中	大会指定ゼッケンを縫着すること

※両サイドの紐を必ず結ぶこと。

※左右肩はいかなる表記も不可とする。